

はにわ通信

No.209 平成24(2012)年8月号



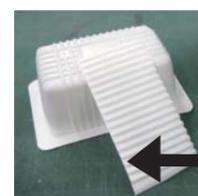
当時の風景を再現！ジオラマづくりの舞台裏…

～企画展「松電ものがたり～消えたレールの記憶Ⅱ～」開催中～



文化財センターギャラリーでは、8月19日(日)まで企画展「松電ものがたり～消えたレールの記憶Ⅱ～」を開催しています。展示室では、昭和39年12月13日まで松阪～大石間を走っていた「松電」のたくさんの写真とともに、「松電」が走る当時の風景を再現したジオラマも展示しています。

この街並みは、文化財センター職員がつくったものですが、リアルさを出すために工夫をこらし、さまざまなものを素材に使っています。おがくず・ススキ・豆腐のパック・・・どの部分に使っているかわかりますか？細部にわたって表現されたジオラマの世界を会場にてお楽しみください。(担当)



豆腐のパックで屋根の瓦を表現



草原はおがくずを着色
畑のネギはススキが材料

【夕涼みの季節】

夏の夜涼を追う

楊万里

夜熱 依然として 午熱に同じ
門を開いて 小立す 月明の中
竹 深く 樹 密にして 虫 鳴く 処
時に微涼有り 是れ風ならず



(夜になってもまだ、真昼のうだるような暑さのままである。私は門を出て月明かりの下にしばらく立っていた。竹やぶが深く樹木の生いしげるあたりでは、秋の虫が鳴いていた。そのとき、べつに風が吹いたわけでもないのに、かすかな涼しさがあたりにたどった。)

夜になってもむし暑さはすこしもおさまらず、熱帯夜がつづくこのごろです。この季節ならではのエコなすこし方のひとつに、夕涼みがあります。暑かった一日の夕暮れから宵にかけて、戸外で涼をとりながら夏の夜を楽しむというまさに「夏夜追涼」の心境です、そのときの伝統的な夕涼みグッズといえば、縁台、うちわ、蚊やり、浴衣などでしょうか。あちらこちらからやがて聞こはじめる虫の音は、夏から秋への季節のかすかな移ろいをわたしたちに実感させてくれます。

あこよ来よ 転ぶも上手 夕涼 一茶
怪談の 昨日のつづき 涼み台 虚子
妻の来て 白粉匂ふ 涼みかな 草城

楊万里 南宋(960～1279)時代の詩人
(所長)

文化財センター はにわ館 & ギャラリー8月の催し物予定

月曜日は休館日です。開館時間は9時～17時です(入館は16時30分まで)。

【はにわ館】 入館料 100円 (18歳以下無料)

第1展示室 ■常設展「宝塚古墳の謎」

第2展示室 ■企画展「古墳時代の幕開け～雲出川の遺跡～」7月21日(土)～9月2日(日)

★中学生ボランティアガイド 8/1(水)～8/3(金) 13:00～15:00、8/4(土)・8/5(日) 10:00～12:00、13:00～15:00

中学生ボランティアが、古代の衣装を身にまとい、国史跡宝塚古墳と古墳から出土した重要文化財の埴輪をガイドします。(ボランティアガイドにご協力いただいた方は、無料で入館していただけます。)

【ギャラリー】 入場無料

第3G ■企画展「松電ものがたり～消えたレールの記憶Ⅱ」7/21(土)～8/19(日)

第1・2G ■「まつさかのちいちゃなアーティストたち～まつさかの公・私立保育園園児造形展」

8/2(木)～8/5(日)*4日は18:00まで延長

第1・2・3G ■「第69回松阪美術協会展」8/26(日)～9/2(日)*2日は16:00まで



バーコード読み取り
(文化財センター情報)